低炭素地域づくり面的対策推進事業

第２回協議会

2009年10月20日

宇部市地球温暖化対策ネットワーク低炭素地域づくり協議会

（通称：スマート通勤宇部市民会議）

1．スマート通勤について

2．アンケート調査について

3．モビリティマネジメントについて

4．自転車利用促進について

5．今後の取り組みについて

《前回からの変更点及び補足事項》

①協議会名称（宇部市地球温暖化対策ネットーワーク低炭素地域づくり協議会）の通称を
「スマート通勤宇部市民会議」としました。

②「エコ通勤」を「スマート通勤」と称することとしました。

③従業員モビリティマネジメント（従業員MM）を行うため、
「スマート通勤キャンペーン」を実施します。

④ホームページを開設しました。

「スマート通勤宇部市民会議」HPのトップページ（http://ube-ttm.com/）

スマート通勤宇部市民会議

宇部市地球温暖化対策ネットワーク低炭素地域づくり協議会

メニュー

- 事業の概要
- スマート通勤について
- 自転車利用促進について
- 協議会資料

アンケート

- アンケートの御願い

この事業は環境省の「平成21年度低炭素地域づくり面的対策推進事業」に採択されました。

トピックス

2009/10/15 - 10月20日に第2回協議会を実施する予定です。

2009/10/15 - アンケート調査にご協力お願いします。

2009/10/15 - スマート通勤キャンペーンを実施します。

2009/10/15 - 8月25日に第1回協議会を実施しました。

スマート通勤参加企業リスト

- 宇部市役所
- 宇部市ガス水道局水道事業部
- 宇部市ガス水道局ガス事業部
- 山口県宇部県民局
- 宇部地方合同庁舎
- 宇部税務署
- 山口県宇部健康福祉センター
- 郵便事業㈱宇部支店
- 宇部興産㈱宇部本社
- 協和発酵バイオ㈱山口事業者宇部
- セントラル硝子㈱
- チタン工業㈱
- ㈱山口銀行宇部支店
- 西中国信用金庫宇部支店
- 中国電力㈱宇部営業所
- 山口大学医学部
- 山口大学工学部 2009年10月15日現在

問い合わせ先

スマート通勤宇部市民会議事務局

■宇部市地球温暖化対策ネットワーク（UNCCA）

〒755-0032宇部市寿町2丁目11番28号

TEL：050-1298-4065,070-5674-9668

FAX：050-1298-4065

E-MAIL：ubeondankanet@ybb.ne.jp

■株式会社バイタルリード

〒731-0103広島市安佐南区緑井4丁目33番9号301

TEL・FAX：082-876-2809

1
スマート通勤

✓ スマート通勤推進キャンペーン①

目　的

マイカーからのＣＯ２排出量を削減するため、利便性の高いバス路線沿線やＪＲ駅の利用圏内に居住するマイカー通勤者に焦点を当て、スマート通勤の働きかけを行うこととしています。

キャンペーンの対象者

下記のバス停及び駅から概ね５００メートル以内に居住され、市中心部にマイカーで通勤されている方。但し交代制職場の方や幼児の送迎、通院等でマイカーが必要不可欠な方は除きます（以下、対象マイカー通勤者）。

【バス】　西宇部線・中央病院線（終バス23時）、小羽山線（終バス22時12分）
八幡宮線（終バス21時15分）、小野田線（終バス21時）等
【鉄道】　宇部線、山陽本線、小野田線、山口線

キャンペーン依頼企業等

※100団体の参加を目標にしています。

●UNCCA会員（（　）内は事業所数または人数）	
・学術研究機関（10）	・市民団体・活動団体（38）
・行政機関(25)	・個人（46）
・企業・事業所（47）	
●その他	
・行政機関(3)	・企業（3）
・広報うべ（10月15日刊行）で募集	

委員の皆様には、自社の社員の方々及び他の企業の方々に積極的にキャンペーン参加の呼びかけをお願いいたします。

✓ スマート通勤推進キャンペーン②

取り組み内容

マイカー以外の方法による通勤にチャレンジしてください。
取組回数は各事業所または個人の任意、事業所独自のノーマイカー通勤デーがある場合は、通常より強化した取組をお願いします。
また、スマート通勤モニターを１００名公募します。

実施期間

２００９年１１月～１２月（※重点１２月）

参加目標

対象者の５割以上の参加を目標に願います。

実施主体

スマート通勤宇部市民会議（学識経験者、企業・事業所、交通事業者、ＮＰＯ、商工会議所、山口県、宇部市等）、後援：㈱宇部日報社、㈱エフエムきらら

1
スマート通勤

✓ スマート通勤推進キャンペーン③

〔調査内容〕

（１）対象マイカー通勤者数等を把握され、事務局にお知らせください。
　　ア　実施前調査
　　（ア）様式１の（Ａ）スマート通勤実施前計画欄
　　（イ）締切日　２００９年１０月１４日（水）
　　（12月のみ実施する企業については、締切日を11月16日(月）とします。）
　　イ　実施後調査
　　（ア）様式１の（Ｂ）スマート通勤実施後結果欄
　　（イ）締切日　２０１０年１月１２日（火）
（２）提出方法
　　可能な限り、メールでのご提出をお願いします。

（様式１(A)(B)）

(A)スマート通勤実施前計画【〆:10月14日(水)】												(B)スマート通勤実施後結果【〆:1月12日(火)】							
参加事業所名(団体名)◎	所在地		担当者					従業員数(人)	(1)今回対象の通常マイカー通勤者数(人)	(1)の片道合計通勤距離(km)	CO2削減予定(kg)	スマート通勤実施日数(※個別調査票参照)							CO2削減量(kg)
	郵便番号	町名、番地	所属	名前	電話番号	FAX番号	メールアドレス					計	①徒歩	②自転車	③バス	④鉄道	⑤バイク	⑥相乗り	

✓ アンケート調査の概要

実施期間	9月18日～
配布数（配布企業数）	339（19）
回収数（回収率）	231（68.1%）〔10/16現在〕
スマート通勤モニター希望者数	38名〔10/16現在〕
配布・回収方法	・企業・事業所の担当者にまとめて郵送し、企業・事業所ごとにまとめて郵送回収を行った。 ・別途、ホームページでもアンケートを実施中。（10/15～）
配布資料	・スマート通勤推進キャンペーンについて ・アンケート票 ・パンフレット （「かしこいクルマの使い方」を考えてみませんか？」 ・共通バス時刻表 ・ecoサイクルマップ

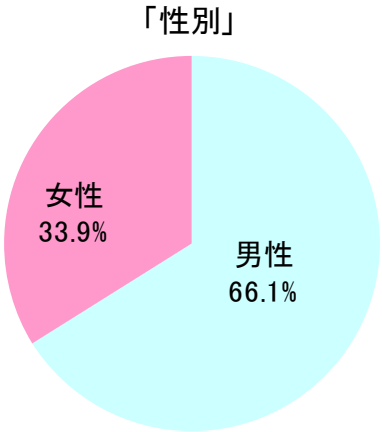
✓ アンケート調査結果①

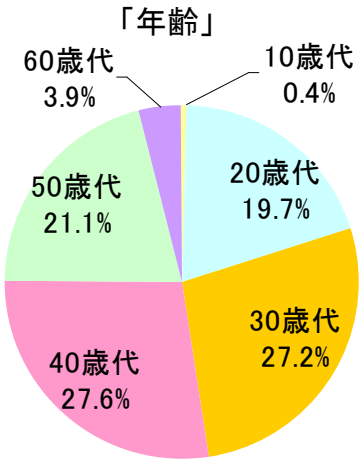
●回答者の属性

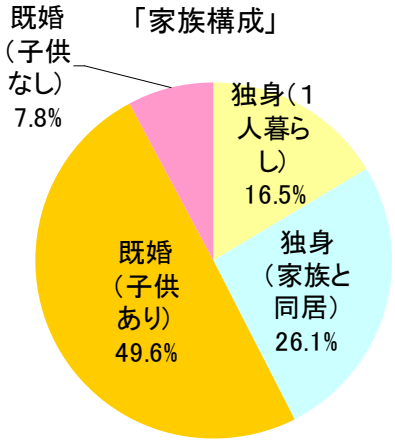
・性別は、男性が約7割を占めている。

・年代は、10歳代、60歳代は少ないものの、その他の年代は2～3割を占めており、同程度の割合である。

・家族構成は、既婚者（子供あり）の人がもっとも多く、全体の約半数を占めている。





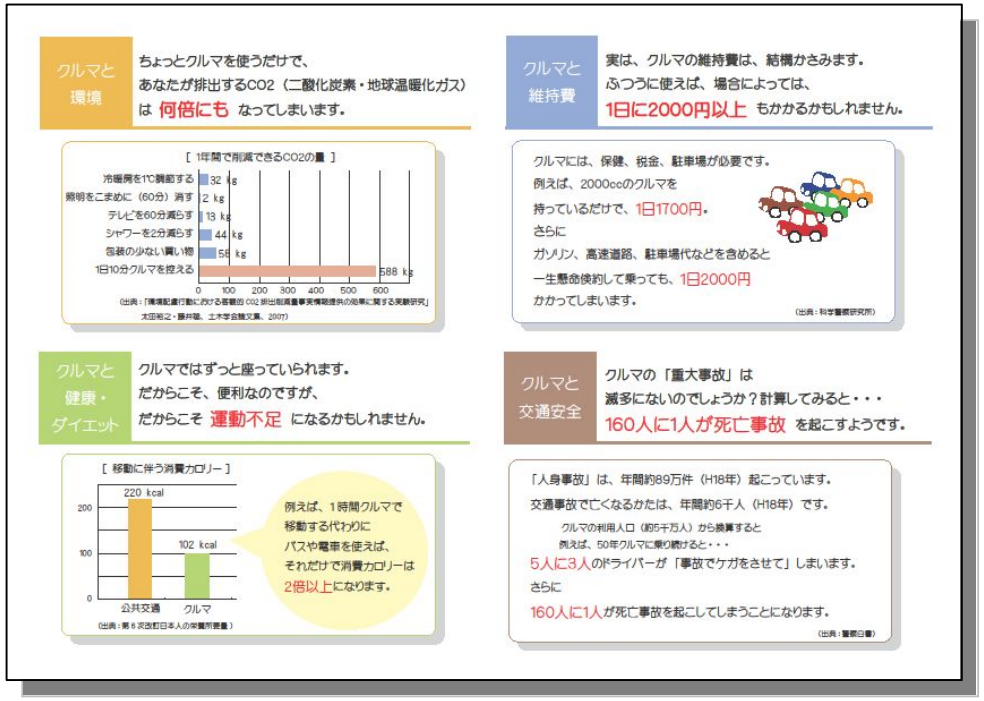


✓ アンケート調査結果②

●パンフレット「かしこいクルマの使い方を考えて見ませんか？」について

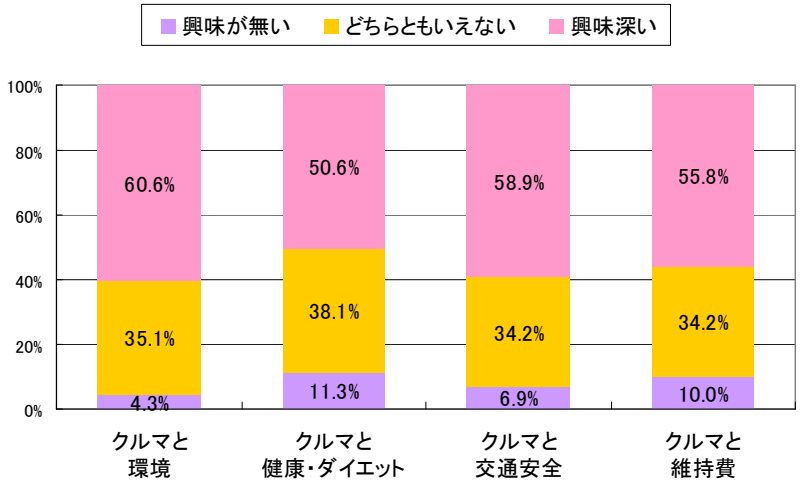
・「クルマと環境」を興味深いと感じる人の割合がもっとも高く、他の項目についても、半数以上の人が興味深いと感じている。

・「地球温暖化対策のためには、クルマの利用をできるだけ減らしたほうがいいと思うか」については、9割以上の人が、減らしたほうがいいと考えている。

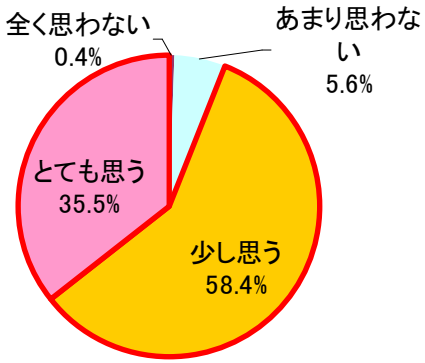


「かしこいクルマの使い方を考えて見ませんか？」

「かしこいクルマの使い方を考えてみませんか？」の
項目別の興味度



「地球温暖化対策のためには、クルマの利用を
できるだけ減らしたほうがいいと思いますか？」



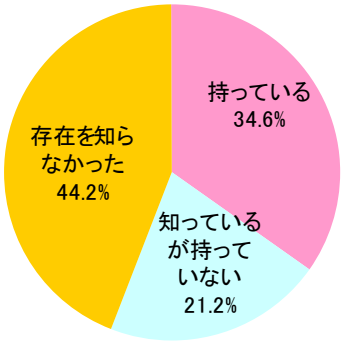
✓ アンケート調査結果③

●共通バス時刻表について

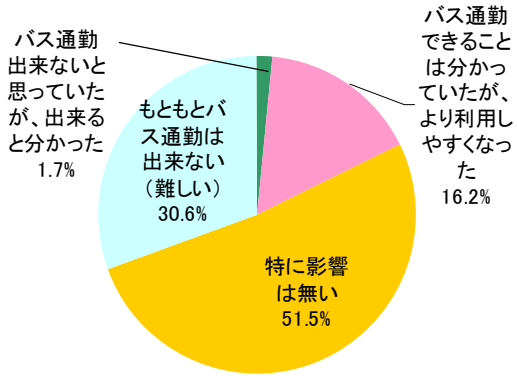
・共通バス時刻表を持っている人は、約35%であり、存在を知らない人が約半数を占めている。

・共通バス時刻表を配布することにより、約18%の人が、バス通勤しやすくなったと回答している。

「共通バス時刻表をご存知ですか？」



「共通バス時刻表があることによってご自身のバス通勤に影響がありますか？」

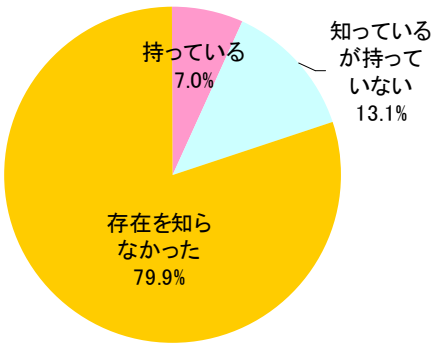


●ecoサイクルマップについて

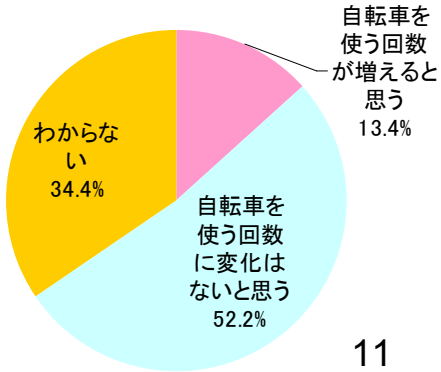
・ecoサイクルマップの存在を知らない人が約80%占めている。

・ecoサイクルマップによって、自転車を使う回数が増えると思う人は、約13%である。

「ecoサイクルマップをご存知ですか？」



「ecoサイクルマップを見て、ご自身の自転車の利用頻度にどのような変化があると思いますか？」



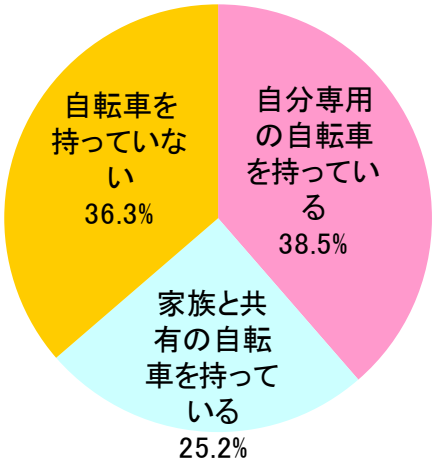
✓ アンケート調査結果④

●自転車利用について

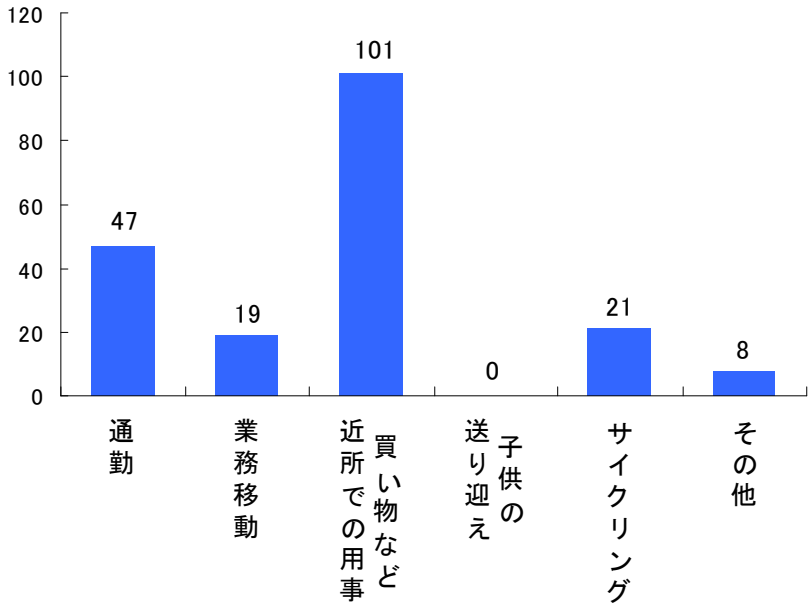
・自分専用の自転車を持っている人は、約39%である。

・自転車の利用目的は、「買い物など近所での用事」がもっとも多く、ついで通勤で利用する人が多い。

「自転車を持っていますか？」



「自転車をどのようなときに利用していますか（複数回答可）？」



✓ アンケート調査結果⑤

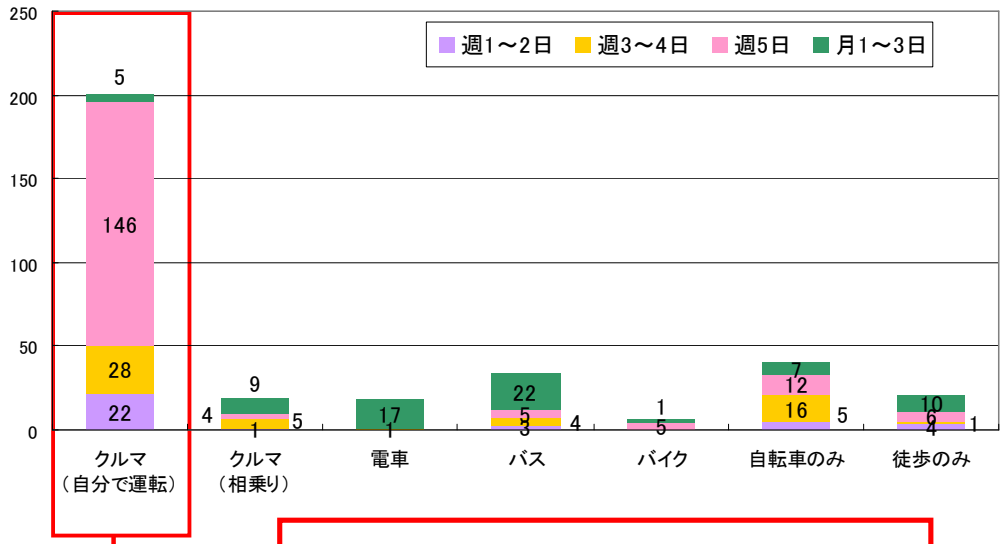
●現在の通勤手段とスマート通勤実践の意向

・現在の通勤手段を聞いたところ、クルマ（自分で運転）する人が最も多く、毎日クルマで通勤する人が多い。

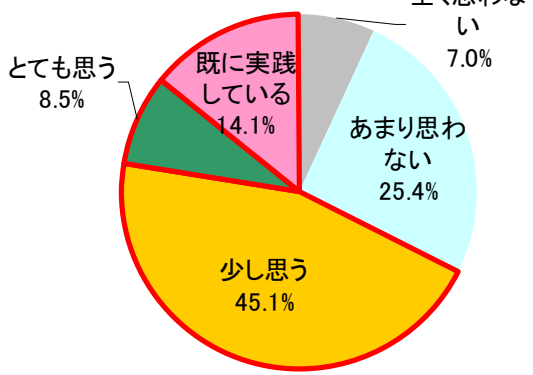
・電車やバスといった公共交通機関を利用する人は、全体の約23%である。

・少しでもクルマで通勤している人に、スマート通勤実践の意向を確認したところ、約68%の人が、実践しようと思っているか、既に実践している。

「通勤の交通手段別頻度」



「スマート通勤を実践してみようと思いますか？」

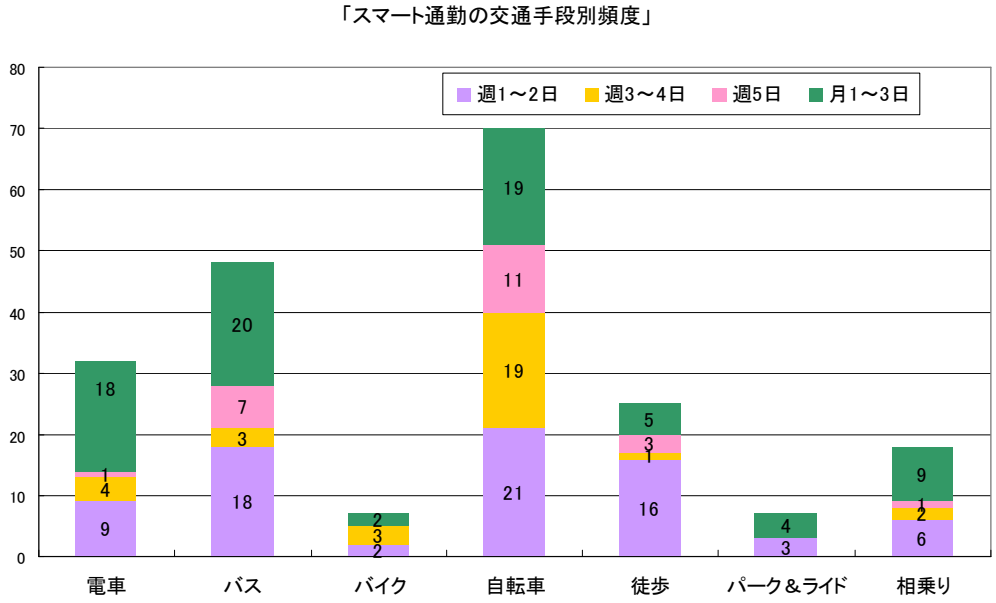


✓ アンケート調査結果⑥

●スマート通勤の手段

・スマート通勤の交通手段は、自転車への転換者がもっとも多く、次いでバスへの転換者が多い。

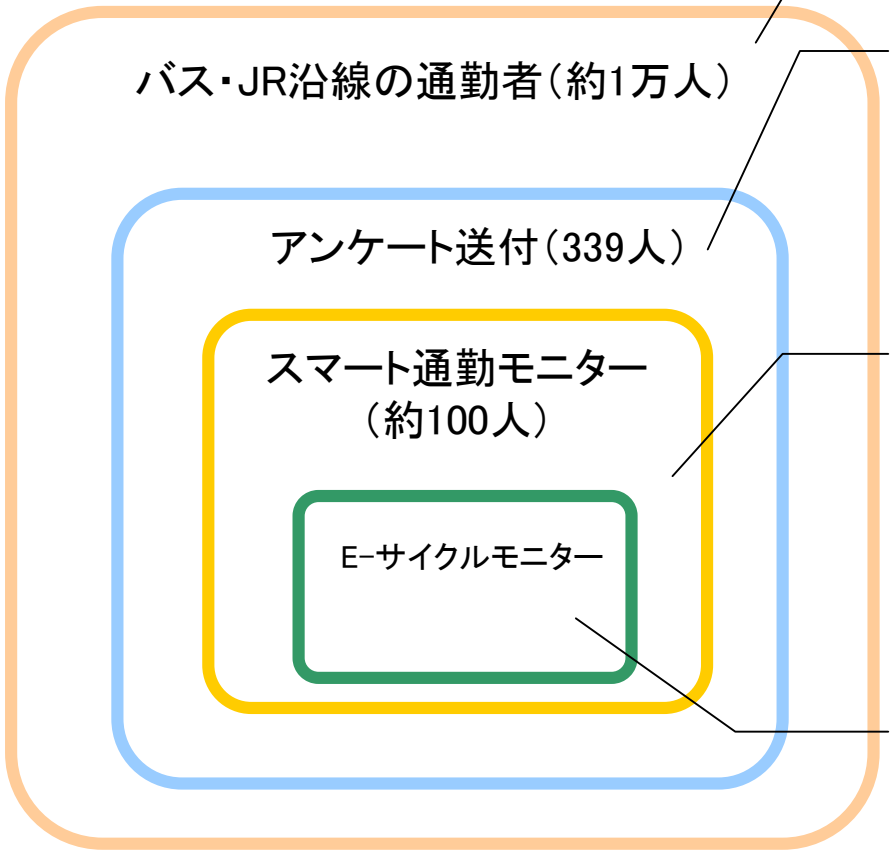
・スマート通勤モニター参加者は、現時点で38人である。



電車	バス	バイク	自転車	徒歩	パーク＆ライド	相乗り
8人	10人	3人	15人	4人	1人	5人

交通手段別スマート通勤モニター人数

✓ モビリティマネジメント（MM）の手法



◆UNCCA会員企業及び「広報うべ」によってスマート通勤推進キャンペーンの参加を依頼。

◆ワンショットTFP※（1度だけ情報を提供する）
→啓蒙パンフレット、時刻表、ecoサイクルマップ

◆コミュニケーション・アンケート
→「スマート通勤・低炭素まちづくり」を考えるアンケート調査
→事後調査

さらにスマート通勤モニターには複数回TFP※を行う。

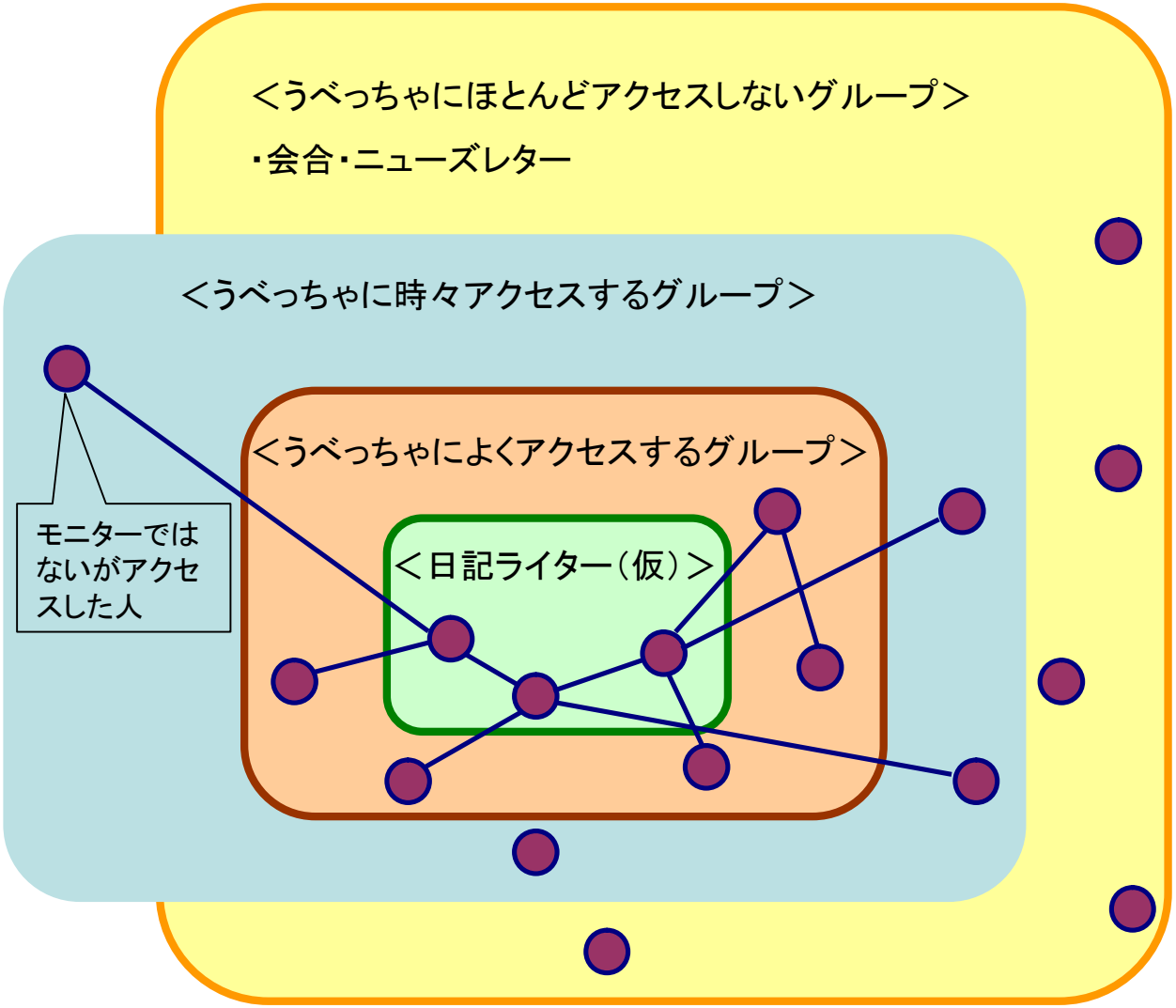
◆宇部地域SNS「うべっちゃ」に登録してもらい、モニター同士で情報交換等を行う。
◆日記ライター（仮）に「スマート通勤日記（仮）」を書いてもらう。
◆更に自然にグループができれば、グループ内でコミュニケーションを図る。
◆通勤カルテシステムを使い、CO2排出量の把握を行う。

◆自己目標の設定
◆サイクルコンピューターでデータを収集し、毎月報告する。
◆「うべE-CYCLEクラブ2009」の活動への協力
◆モニター体験感想文の提出と報告会への出席

※TFPとはトラベル・フィードバックプログラムの略で、MMの代表的なコミュニケーション施策であり、対象とする人々一人ひとりと、個別的かつ大規模にコミュニケーションを取ることを通じて、一人ひとりの意識と行動の変容を促すことを言います。

✓ スマート通勤モニターへのMM

スマート通勤モニター（約100人）



（手順）

1．モニターの中から週1回程度「スマート通勤日記（仮）」をうべっちゃ上に書いてくれる日記ライター（仮）を募集する。

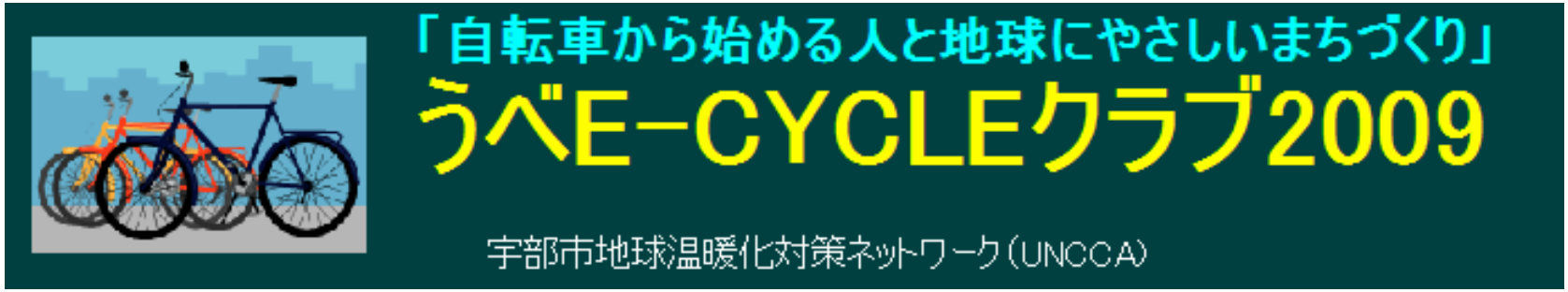
2．日記ライター（仮）には、体験記をうべっちゃのコミュニティに書いてもらう。

3．日記ライター（仮）以外にも原則、うべっちゃ＋コミュニティに加入してもらう。

4．可能な範囲で、コミュニティへの参加状況をフォローする。

5．モニター内のコミュニティ参加度の違いと「公共交通利用頻度」「持続性」「周辺の人への波及度」の相関を調べる。

✓ 概要



○サイクル党宣言
　ＨＰ、地域イベント、E-サイクルモニターを通じて宣言者募集中（目標300）
○E-サイクルモニター
　公募によるモニター41名で８月１日よりモニタリング開始
　２ヶ月間で走行距離15,000km　3.6ton-CO2削減
　スマート通勤転換者より追加モニター募集中
○ E-CYCLEまちづくり隊
　走行環境改善のための働きかけ・提言・要望活動、サイクルマップ作成
　E-サイクルモニター有志を中心に10月20日立ち上げ
○広報・啓発活動
　ＨＰ（開設済）、E-サイクル通信（02号まで発行済）
　宇部市リサイクルフェアー（10月11日実施）　宇部まつり（11月1日予定）

5
今後の取り組み

✓ スケジュール

委託業務実施上の区分 ＼ 実施期間	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)企業と連携した鉄道・路線バス沿線における職場モビリティマネジメント									
①アンケート調査による現状把握			■	■					
②スマート通勤モニターによる通勤情報等の収集					■	■			
③通勤カルテシステムの検討				■	■	■	■		
④低炭素な移動環境づくりのための制度の検討				■	■	■	■		
⑤二酸化炭素の削減効果の把握							■	■	
(2)自転車利用促進									
①アンケート調査による現状把握			■	■					
②E-サイクルモニターによる通勤情報等の収集		■	■	■	■	■	■	■	
③サイクルマップの作成				■	■	■	■	■	
④二酸化炭素の削減効果の把握							■	■	
(3)CO2排出量現況調査・施策のCO2削減効果シミュレーション及び事業のとりまとめ									
①宇部市全域におけるCO2排出量の現況推計				■	■	■	■	■	
②施策の実証実験の効果検証・CO2排出量算定方法の検討				■	■	■	■	■	
(4)協議会の実施		■		■				■	